



日本の伝統文化を守り受け継いでいく



創業大正12年

和装 まつや



松山尚史(ひさし)社長

徳山で着物といえば「和装まつや」。昨年6月に創業100周年を迎えられた老舗です。社長の松山さんにお話を伺いました。取材・編集/大下

お着物のことなら何でもお任せください！

豪華な振袖セット



### 【100周年！】

創業は大正12年6月28日。現在の4代目社長の松山尚史さんの“ひいおじいさん”松山真一さんが「松屋呉服店」を開業されたのが始まりです。昭和20年の空襲では店舗が焼失しましたが、創業当時からずっと同じ場所で営業を続け、昨年100年を迎えられました。

### 【ピーク時の20分の1…】

コロナ禍で成人式が中止になったり、少子化や着物を着る機会の減少、高額な商品ということもあり、業界全体の売上はピークだったバブル期の約20分の1にまで減っているとか。

他にも、着物を作る（布を織ったり、染めたり）職人の高齢化と担い手不足なども心配されています。

### 【これからの着物！】

夏まつりでは浴衣の着付けサービスもあり、最近、若い男性も浴衣を着て、カップルで夏まつりを楽しんでいる方も多いそうです。

お母様の振袖をお嬢様用に仕立て直すサービスもあります。予約して親子で来店するとQUOカードのプレゼントもあるそうなので、是非、利用してみてください。

着付け教室もあります。パーソナルレッスンで、5,500円(税込)で6回受講できます。着物に興味を持たれた方は挑戦してみるのもいいですね。

振袖にブーツを合わせるファッション上級者もいらっしやいます！

成人式の振袖は早い方は2年前から予約されるそうです！



↑振袖展示数は県下最大級の約300枚

### 【ハッキリ言います！】

婚礼衣装以外の振袖、留袖、訪問着、七五三、浴衣など、小物も含め、販売もレンタルも承っております。

お客様の着姿を見て、似合っているかどうかハッキリと伝えるそうです！！「センスの良さはお任せください。」とおっしゃるように、お店の方と相談しながら決めたいですね。

「まつや」でご購入されたお着物でしたら、無料着付けサービスもあります。



### 【日本の伝統文化を守る！】

着物は1年に1回は風を通した方がいいそうです。“たとう紙”（着物の専用保管包装紙）から出して日陰干しをするだけで大丈夫。タンスの引き出しを開けるだけでも違うとか。思ったほど手間はかかりませんね。（表紙で社長の持っている“たとう紙”は創業当時のものです！）

お客様から、着付けや着物が良かったと言っていたいた時がやはり嬉しいそうです。

これからも日本の伝統文化である着物を守り、着物が大好きな方を増やしていきたいと話されていました。



和装だけでなく、おしゃれな洋品もあります。バラ柄のカップ&ソーサーや小物、かわいいワンちゃんのマスコット付時計など。素敵な洋品コーナーにも是非お立ち寄りください！

### ■ DATA

【住所】周南市銀座2-19

【営業】10時～18時30分

【電話】0834-21-0005

【定休日】毎週火曜、第2・3月曜

